

上垣内縫製

アパレルCAD/CAMとデザインシステム導入による 内製加工の一貫生産体制の構築



会社紹介

ものづくりに対する情熱と確かな品質
全てのお客様に安心と信頼を届けたい



上垣内勝則

近年、お客様のニーズが細分化され、小ロット・多品種へのニーズが増えています。アパレルだけでなく、ペットを含む布製品は多岐にわたり、個人のお客様からも受注。より内製加工の一貫生産体制が求められるようになりました。柔軟な対応と、精度とスピードの向上。その中でも、ものづくりに対する情熱と品質を追い求めて、今後も、業界関係者の皆様と協働しながら、安心と信頼と一緒に届けていければと考えています。

上垣内縫製

代表者：代表 上垣内照記
所在地：橋本市高野口町名倉1359-1
設立：昭和54年
TEL：0736-43-1805
従業員：6名
FAX：0736-43-1815
業種：レディースファッションを中心とした裁断・縫製業
E-MAIL：huegaito@coral.broba.cc

補助事業

高い技術力と裁断・縫製に特化した生産体制 要望が膨らむ多品種・小ロット受注の難しさ

和歌山県の高野口町を中心とする紀北エリアは、毛が編み込まれた有毛布地で知られるパイル織物の一大産地だ。そんなものづくりの土地で半世紀近くにわたり、縫製業を営む小さな町の工房「上垣内縫製」。従業員数6名と少数精鋭ながら、高い技術力と裁断・縫製に特化した生産体制で、高品質・高感度を備えた満足度の高い製品を全国に提供し続けている。生産のメインはレディース・婦人服のアパレル製品。ベテランの職人による各自一点仕上げで品質が高く、多様なデザインに対応できるMADE IN JAPANの丁寧なものづくりが評価されている。

今回の導入においてまず課題となったのは、補助事業の書類と手続きの難しさ。個人事業主ということでハードルの高さを感じつつも、取引先や地元の織物企業等、周囲の後押しもあり申請に漕ぎ着けることができたという。導入したのは、裁断デー

タをもとに積層された生地を、コンピューターによって効率的に裁断するCAMシステムと、顧客から送られてきたパターンデータを活用して、裁断データを作成・修正するデザインシステム。多彩なアパレル製品のほか、さまざまな生産に対応する島精機製作所のCAD/CAMシステムを導入した。

もともと、裁断機を使用した人の手による作業で、多方面に不便が生じていた。大きな作業台への繰り返しの上り下りによる体への負担にはじまり、多品種・小ロットの受注の厳しさ、裁断精度による縫製作業への影響。また手裁断ではどうしても時間が掛かり、残業をして時間を詰めたとしても、仕事を受注できるキャパシティが狭く、発注があっても断らざるを得なかったり、急ぎの受注が重なった時は、希望の納期に間に合わすことが難しく交渉するケースが増えていた。

成果

より高品質な製品を安定して提供 信頼度もアップで受注量と売上に期待

裁断は設定を決めてボタンを押すだけ。裁断するために約80cmの高さの台の上ったり下りたりを繰り返すことができなくなり、バンドナイフや裁断機で裁断することが減ったため、体への負担やケガのリスクが大幅に軽減された。さらに自動化によって、受注から納品までのリードタイムが大幅に短縮。自動裁断機を導入したことで、これまでの作業時間が半分以下に。多品種・小ロットへの対応も可能となり、短縮された時間で次の作業に移ることができた。裁断精度の向上により、結果として縫製もしやすく、縫製の生産能力も進展。より高品質の製品を、安定して仕上げるできるようになった。顧客のオーダーへの柔軟な対応と、精度・スピード・品質の向上により、取引先の信頼度もアップ。受注量の増加とともに、裁断のみの仕事も受けられることから、今後の売り上げアップが見込まれる。



今後の展開

大量生産ではできない細やかな対応 唯一無二の地場産品で地域にも貢献

今後、市場の販売状況に応じて、迅速な生産・商品の提供ができることから、国内生産の大きな強みになると確信。また長年培った縫製技術により、複雑なパターンや異なる素材を組み合わせた商品など、大量生産ではできない細やかな対応も可能に。また近年、環境保護の観点から、高野口町のエコファーへの関心が高まっている。毛足の長い素材の縫製技術は、他にはマネのできない自社の強み。高野口の生地メーカーと連携しながら、唯一無二の地場産品を送り出し、地域の活性化にも貢献する。

